

評価結果概要表

【事業所概要（事業所記入）】

事業所番号	3870105834
法人名	有限会社 媛の華
事業所名	グループホーム 媛の華
所在地	松山市別府町183番地2
自己評価作成日	平成21年9月10日

事業所の基本情報は、公表センターページで閲覧してください。（このURLをクリック）

基本情報リンク先	
----------	--

【評価機関概要（評価機関記入）】

評価機関名	特定非営利活動法人JMACS
所在地	愛媛県松山市千舟町6丁目1番地3 チフネビル501
訪問調査日	平成21年9月24日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点（事業所記入）】

施設および職員の資質向上のため、外部研修や会議、勉強会等への参加や、資格取得に向けた取り組みを積極的に行っている。
 利用者の生活を豊かにするため、食事の献立やカロリーには配慮しており、また、行事食等でも楽しめる食事作りを心掛けている。
 利用者の生活の楽しみ作りとして、職員が楽器演奏（オカリナ、ギター演奏）をしたり、昔の映画や音楽が鑑賞できるように備品を揃えている。また、目で見て楽しめるように掲示物（季節の掲示物等）や置物にも配慮している。

【外部評価で確認した事業所の優れている点、工夫点（評価機関記入）】

玄関や南側の花壇には季節の草花が咲いていた。居間には、手作りのちぎり絵等が飾られ、観葉植物等も置かれている。食後には居間で雑誌を広げる利用者の様子も見られた。居室入り口には暖簾を掛けておられる。ご家族の写真やご自分で作られた俳句の色紙を飾っている方もあり、ご家族が生前使用されていた思い出のある鏡台を持ち込んでおられたり、化粧品等も置かれており、おしゃれを楽しんでいる利用者のお部屋も見られた。
 お風呂を嫌がられる方には、「ちょっと汚れているから着替えますか」等と声かけして、お風呂に誘うこともある。浴槽で温まりながら手足の運動をされる方もいる。

・サービスの成果に関する項目（アウトカム項目） 項目 1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項目		取り組みの成果 該当するものに印	項目	取り組みの成果 該当する項目に印
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる (参考項目：23,24,25)	1. ほぼ全ての利用者の 2. 利用者の2/3くらいの 3. 利用者の1/3くらいの 4. ほとんど掴んでいない	63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています (参考項目：9,10,19)
57	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある (参考項目：18,38)	1. 毎日ある 2. 数日に1回程度ある 3. たまにある 4. ほとんどない	64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている (参考項目：2,20)
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている (参考項目：38)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている (参考項目：4)
59	利用者は、職員が支援することで生き生きした表情や姿がみられている (参考項目：36,37)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	66	職員は、生き活きと働いている (参考項目：11,12)
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている (参考項目：49)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている (参考項目：30,31)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない	68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている (参考項目：28)	1. ほぼ全ての利用者が 2. 利用者の2/3くらいが 3. 利用者の1/3くらいが 4. ほとんどいない		

自己評価及び外部評価結果表

サービス評価自己評価項目 (評価項目の構成)

- .理念に基づく運営
- .安心と信頼に向けた関係づくりと支援
- .その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント
- .その人らしい暮らしを続けるための日々の支援

【記入方法】

指定認知症対応型共同生活介護の場合は、共同生活住居(ユニット)ごとに、管理者が介護職員と協議のうえ記入してください。

全ての各自己評価項目について、「実施状況」を記入してください。

(注) 自己評価について、誤字脱字等の記載誤り以外、外部評価機関が記載内容等を修正することはありません。

用語について

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。
(他に「家族」に限定する項目がある)

運営者 = 事業所の具体的な経営・運営に関わる決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)。

職員 = 「職員」には、管理者および非常勤職員を含みます。

チーム = 一人の人を関係者が連携し、共通認識で取り組むという意味です。
関係者とは管理者・職員はもとより、家族、かかりつけ医、包括支援センターなど、事業所以外で本人を支えている関係者を含みます。

ホップ 職員みんなで自己評価!
ステップ 外部評価でブラッシュアップ!!
ジャンプ 評価の公表で取組み内容をPR!!!

- サービス向上への3ステップ -

事業所名 グループホーム 媛の華

(ユニット名) 1階

記入者(管理者)
氏名 大原 チスカ

評価完了日 平成 21年 9月 10日

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
理念に基づく運営				
1	1	理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義を踏まえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	(自己評価) 朝礼、職員会、勉強会等において、理念や運営方針に基づいた指導を行い、実践に向けて努めている。また、新たに見直しを行った理念に基づいて、取り組みを始めている。	
			(外部評価) 今年度「安心・安全で楽しく地域の中で共に支えあって生活出来る場を提供します」という新たな理念を職員で話し合い作られた。	
2	2	事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	(自己評価) 運営推進会議の開催や地域住民との日頃の会話等により、地域の一員として交流している。今後、行事への参加及び実施、また、会議等への参加呼びかけにより、更なる交流を図りたい。	
			(外部評価) 事業所で行う敬老会に、地域の方達の参加を呼び掛けられた。小学校からの依頼で、事業所見学の受け入れをされた。秋祭りには地元の神輿が来てくれるようになっている。地域の運動会等の行事がある時は、見学に行かれている。	
3		事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げている認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	(自己評価) 運営推進会議、外出時の会話等を通じ、認知症高齢者への理解促進に向けた取り組みを行っている。今後も、地域との共同で行事を行う予定もあり、会議等への参加を促す取り組みも行っていく。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
4	3	<p>運営推進会議を活かした取組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実 際、評価への取り組み状況等について報告 や話し合いを行い、そこでの意見をサービ ス向上に活かしている</p>	<p>(自己評価) 施設及び認知症高齢者への理解に向け、会議では、 施設での実践(利用者の生活、職員の業務、その他施 設での取組み等)について話し合い、そこで得られた 意見を元に更に話し合いを進め、サービス向上に努め ている。</p> <p>(外部評価) 会議では、事業所の「行事予定」に関してご意見をう かがったり、気ままに外出された利用者の方の対応に ついて報告して、地域の方の協力をお願いされた。地 域行事等の情報を教えてもらったり、ボランティアに 来ていただけそうな方に声を掛けてもらえるようお願 いされている。</p>	
5	4	<p>市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、 事業所の実情やケアサービスの取組みを積 極的に伝えながら、協力関係を築くよう に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 運営推進会議や電話等において、施設における取り 組み等について報告している。</p> <p>(外部評価) 運営推進会議では、市の職員から会の趣旨等について 参加者に説明していただいた。気ままに外出される利 用者の対応について話し合った際には、他施設の事例 等を紹介していただいた。</p>	
6	5	<p>身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定基準におけ る禁止の対象となる具体的な行為」を正し く理解しており、玄関の施錠を含めて身体 拘束をしないケアに取り組んでいる</p>	<p>(自己評価) 「身体拘束ゼロ作戦の手引き」等を活用し、身体拘束 をしない取り組みを実践している。また、やむを得な い場合においては、家族からの同意を得ると同時に、 拘束時間の記録も行っている。</p> <p>(外部評価) 利用者が外出される際、職員は、そっと付き添い歩 くようにされている。又、いざという時、地域の方 たちに探していただけるよう、事業所に利用者の写 真をいつでも提示できるように用意されている。意 思表示のむつかしい方が長時間座って居ることが ないよう、職員は、時間を見て横になってもら うようにされている。事業所では、資料・ビデ オ等を使用し、拘束にかかわる勉強会をされて いる。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
7		虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	(自己評価)	職員会、勉強会、研修、朝礼等において、職員への周知に努めている。また、現在、当施設での虐待は発生していないが、今後も発生しないよう努める。
8		権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるよう支援している	(自己評価)	研修会へも参加しており、希望のあった家族には説明及び対応している。
9		契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	(自己評価)	文書及び口頭にて設問の通り実践している。
10	6	運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	(自己評価)	家族会の開催時、利用者面会時、その他随時必要に応じて対応し、可能な限り施設運営に反映させている。
			(外部評価)	
				ご家族来訪時や年一回の家族会時に、ご意見を聞いておられる。

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
11	7	運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	(自己評価)	
			職員会、勉強会、研修、朝礼等において、職員からの意見・提案等を聴き、施設運営に反映させている。	
			(外部評価)	
			職員の意見もあり、事業所では、利用者がベットから転倒するおそれのある時には、畳やマットレス等を用意された。	
12		就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	(自己評価)	
			設問の通り実践している。	
13		職員を育てる取組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	(自己評価)	
			勉強会の開催、施設内外の研修、会議等の共同準備、その他、朝礼や申し送り等必要に応じて、常に職員の資質向上を目指した取り組みを行っている。	
14		同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取組みをしている	(自己評価)	
			外部研修等への参加により、同業者及びその他外部の方と交流する機会を設けているが、今後交流促進を目指した取り組みができるよう努めていく。	
安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
15		初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	(自己評価)	
			ケアマネージャーを中心とし、アセスメント等において、設問の通り実践している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
16		<p>初期に築く家族等との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている</p>	(自己評価)	
			<p>ケアマネージャーを中心とし、アセスメント等において、設問の通り実践している。</p>	
17		<p>初期対応の見極めと支援 サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>ケアマネージャーを中心とし、アセスメント等において、設問の通り実践している。</p>	
18		<p>本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>常に、現利用者の状況を見ながら、対等な立場で、利用者と共にできること(洗濯、掃除、掲示物制作など)を共同で行っている。</p>	
19		<p>本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている</p>	(自己評価)	
			<p>家族と利用者の交流の場として家族会を開催し、毎月家族に対しコメントシート等を通じて利用者の状況を伝えることにより、家族と共に利用者の豊かな暮らしの保持に向けた取り組みを行っている。</p>	
20	8	<p>馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている</p>	(自己評価)	
			<p>家族や親しい方へ手紙を出したり、面会での面会者への声掛け等により、利用者の人との関係維持に向けた支援を行っている。また、今後更なる支援に取り組んでいきたい。</p>	
			(外部評価)	<p>利用者の友人が訪ねて来られ、利用者と一緒に過ごされることもある。</p>

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
21		利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	(自己評価) 利用者同士が仲良く過ごせるような配慮として、日常生活の中で会話を持つ機会や協同で掲示物を作るなどの機会を設ける等、工夫している。	
22		関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	(自己評価) 入院や退所後も、その方や家族にとって必要な支援を施設としてできる限りの範囲で行っている。	
.その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
23	9	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	(自己評価) 生活を共にしていく中で、利用者から希望や意向をしっかりと聴き、それに応じた対応を行っている。また、把握困難な利用者においても、その方の様子から何が必要なかを察知し、対応している。	
			(外部評価) 職員は、日々利用者とかかわる中で新たな気付きがあった時等には、口頭でお互い伝え合われたり、申し送りノート等に記録されている。	ケアマネージャーは、さらに、利用者個々の生活歴を活かしたかかわりにも取り組んでいきたいと考えておられた。利用者個々のアセスメントを充実させて、「その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント」に力を入れていかれてほしい。
24		これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	(自己評価) 生活を共にする中で把握し、それらを活かしたケアに取り組んでいるが、今後、記録としてさらに具体的に記し、より良いケアに向けて努めていく。	
25		暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	(自己評価) 介護記録、毎日の申し送り、会議等において、利用者一人ひとりの現状を職員全員が把握できるようにしている。また、それに基づき、日々のケアに活かした処遇を行っている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
26	10	<p>チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>ケアマネージャーを中心に、利用者・家族等から必要な情報を収集し、職員等とも話し合いを行うことで、利用者の現状に即したケアプランを作成している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>計画に基づいて、個々の具体的な支援の内容を記した「日課計画表」を立て、職員で共有して取り組まれている。</p>	<p>ケアマネージャーは、今後、事業所独自のご本人らしい計画が立てられるような介護計画の書式も、工夫していきたいと考えておられた。</p>
27		<p>個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>(自己評価)</p> <p>毎日の介護記録に記入し、申し送り等においても職員間で利用者の情報を共有している。また、それら記録や日々の状況に基づきケアを行い、ケアプラン作成にも活用して</p>	
28		<p>一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>本人のニーズに応じて、対応できる範囲内で対応している。</p>	
29		<p>地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>楽しみとしての外出（桜の花を見に行くなど）、散歩など、現利用者の状況に応じて安全で豊かな暮らしができるよう、努めている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
30	11	<p>かかりつけ医の受診支援 受診は、本人及び家族等の希望を大切に し、納得が得られたかかりつけ医と事業所 の関係を築きながら、適切な医療を受けら れるように支援している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>家族の承諾により施設と連携している医師及び歯科 医師への往診を依頼しているが、状況に応じ、必要な 場合及び希望がある場合には、その他の医療機関を受 診している。また、職員にも看護資格を有する者が勤 務しており、適切な医療が受けられるよう努めてい る。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>協力医が毎日お昼の時間に往診に来てくださっている。 受診時、ご家族が付き添われる時には、看護師資 格を有する職員が日頃の様子をメモ書きしてご家族に 渡すようにされている。急な受診の際は、看護師資格 を有する職員が同行されている。</p>	
31		<p>看護職との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた 情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問 看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が 適切な受診や看護を受けられるように支援 している</p>	<p>(自己評価)</p> <p>設問の通り実践している。</p>	
32		<p>入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できる ように、また、できるだけ早期に退院でき るように、病院関係者との情報交換や相談 に努めている。または、そうした場合に備 えて病院関係者との関係づくりを行っている。</p>	<p>(自己評価)</p> <p>かかりつけ医より、スムーズに入院できるよう紹介 を受け、直接及び電話にて早期退院のための話し合い も行っている。</p>	
33	12	<p>重度化や終末期に向けた方針の共有と支 援 重度化した場合や終末期のあり方につい て、早い段階から本人・家族等と話し合い を行い、事業所でできることを十分に説明 しながら方針を共有し、地域の関係者と共 にチームで支援に取り組んでいる</p>	<p>(自己評価)</p> <p>医師、看護師、ケアマネージャー、介護職員、家族 と連携を図りながら、利用者の身体状況の変化に対応 した生活支援を行っている。</p>	
			<p>(外部評価)</p> <p>「医療連携体制にかかわる指針」を作成し、入居時に 説明して「看取りの意思確認」をされている。</p>	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
34		急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	(自己評価)	
			応急手当や初期の対応に関する外部研修に参加しているが、今後、定期的な訓練ができるよう取り組んでいきたい。	
35	13	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	(自己評価)	
			防火計画を作成し、防火管理者研修等の外部研修にも参加しているが、その他の自然災害については今後マニュアルを作成し、訓練実施に努めたい。	
			(外部評価)	
			消防の協力を得て、年一回避難・消火訓練を実施されている。事業所では、いざという時に駆けつけてくれるよう、ご近所10軒くらいに協力いただけるようお願いをされている。	管理者は、2階の利用者の避難誘導がむづかしいと話されていた。「夜間時に、職員が何分で事業所に駆けつけられるか」「夜勤者がその間、何人の利用者を避難させる事ができるか」を実際に訓練をして調べてみるような計画もされていた。
.その人らしい暮らしを続けるための日々の支援				
36	14	一人ひとりの尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りやプライバシーを損ねない言葉かけや対応をしている	(自己評価)	
			設問の通り実践している。	
			(外部評価)	
			職員は、利用者個々に合わせた呼び方をされており、職員が利用者に「先生」と呼びかけておられる様子がうかがえた。職員が居室に入る時には、ノックをしてからご本人の了解を得て入室されていた。	
37		利用者の希望の表出や自己決定の支援 日常生活の中で本人が思いや希望を表したり、自己決定できるように働きかけている	(自己評価)	
			可能な限り、利用者本人の希望や思いが自由に表現できるよう、言葉掛けや配慮をしている。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
38		日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切にし、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している	(自己評価) 基本的な1日の流れはあるが、利用者の希望に応じた対応を行っている。	
39		身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援している	(自己評価) 利用者本人の希望を尊重し、その人らしい服装をしていただいている。	
40	15	食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員と一緒に準備や食事、片付けをしている	(自己評価) 実践可能な利用者においては、準備として口腔体操をしていただき、片付けとして下膳をしていただいている。また、現利用者の状況では食事介助が必要であるため、職員と一緒に食事を摂ることは困難であるが、会話をすることで楽しく食事をしていただいている。	
			(外部評価) 食事は、業者から調理されたものが届くようになってきているが、事業所では、ご飯とお汁を作っておられる。おやつは、手作りに心がけ、1日は赤飯、15日には、お寿司、又、月末は、季節を採り入れた料理や利用者の希望する料理を手作りされる。又、体調がすぐれないような方には、状態に合わせて職員が調理されている。	もとは、事業所で食事を手作りされていたが、現在は、「一緒に買い物や調理を行える利用者が少なくなっていったこと」や「糖尿病等のカロリーコントロールが必要な利用者が出てきた」という理由もあり、食事は外注となった経緯がある。管理者は、食事制限のある利用者への対応への課題や日々の食事作り一連を通したケアの大切さを感じておられる。今後もグループホームでの食事支援について「食事を楽しむ」という観点からも話し合いを重ねていかれてほしい。
41		栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	(自己評価) 管理栄養士が作成した献立に基づいて食材を用意し、食事を作っている。また、一人ひとりの食事形態に合わせて食事を準備している。	
42		口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	(自己評価) 設問の通り実践している。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)	
43	16	排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立にむけた支援を行っている	(自己評価)	設問の通り実践している。	
			(外部評価)		
44		便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	(自己評価)	食事摂取や水分補給を十分に行い、軽い運動をすることで、自然なお通じを促している。必要に応じ、医師の診断の下、下剤を使用している。	
			(外部評価)		
45	17	入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めてしまわずに、個々に応じた入浴の支援をしている	(自己評価)	基本的な入浴日や入浴時間は決まっているが、利用者の希望に応じ、曜日や時間帯を変更している。	
			(外部評価)		
46		安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、休息したり、安心して気持ちよく眠れるよう支援している	(自己評価)	各利用者ば生活パターンに応じて睡眠をとっていたき、健康面を勘案し必要に応じて十分な睡眠がとれるよう対応している。また、休息の支援として、お茶やお茶請けを用意し、心が落ち着くような対応をしている。	
			(外部評価)		

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
47		服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	(自己評価) 設問の通り実践している。	
48		役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、嗜好品、楽しみごと、気分転換等の支援をしている	(自己評価) 利用者及び家族から得られた情報を元に、それらを活かした暮らしを提供している。また、現利用者の状況に応じた支援として、カラオケ、読書、洗濯物たたみなどの取り組みを行い、季節行事等の開催に応じた掲示物や食事などにも力を入れている。	
49	18	日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援に努めている。また、普段は行けないような場所でも、本人の希望を把握し、家族や地域の人々と協力しながら出かけられるように支援している	(自己評価) 散歩などは利用者の希望に応じて同行し、また、誘うこともしている。外出に関しては、利用者の希望を家族に伝え、それが可能な場合は家族が同行しており、当施設もそれを支援している。	
			(外部評価) 日々の散歩や他地区の公民館行事に参加されたり、つくし探りに出かけられたり、しまなみ海道へドライブされることもある。	管理者は、近くの総合公園に出かけたいと話されていた。現在、利用者の身体レベルの低下に伴い、外出がなかなかむづかしい面もあるようだが、ちょっとでも外に出て楽しむ機会を作り、利用者の生活を拓げていかれてほしい。
50		お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	(自己評価) 家族と利用者の自己責任に基づき、金銭を所持している利用者があるが、施設としては金銭等を預からないこととしている。	
51		電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	(自己評価) 利用者が希望すれば、家族等に連絡できるようにしており、話しやすいように、他の利用者には聞こえない場所で電話をかけるよう配慮している。手紙に関しては、今後対象者がいれば対応していく。	

自己評価及び外部評価表

自己評価	外部評価	項目	実践状況	次のステップに向けて期待したい内容 (外部評価のみ)
52	19	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間（玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等）が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激（音、光、色、広さ、温度など）がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>家庭を意識した置物や手作りの掲示物・飾り、パズル等を置き、目で見て楽しめる場を提供している。また、家庭のように自由に過ごせる雰囲気作りにも努めている。また、音響調節、採光や照明調節、定期的な換気、温度調節などにも配慮している。</p> <p>(外部評価)</p> <p>玄関や南側の花壇には季節の草花が咲いていた。居間には、手作りのちぎり絵等が飾られ、観葉植物等も置かれている。食後には居間で雑誌を広げる利用者の様子も見られた。</p>	
53		共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>食卓以外にも、ソファやダイニングテーブルを配置することで、ゆったりと過ごせる空間を提供している。</p>	
54	20	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	<p>(自己評価)</p> <p>最低限必要な備品は備えてあるが、ご家族及びご本人の希望により、使い慣れた物品をお持ちいただいている。</p> <p>(外部評価)</p> <p>居室入り口には暖簾を掛けておられる。ご家族の写真やご自分で作られた俳句の色紙を飾っている方もあり、ご家族が生前使用されていた思い出のある鏡台を持ち込んでおられたり、化粧品等も置かれており、おしゃれを楽しまれている利用者のお部屋も見られた。</p>	
55		一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	<p>(自己評価)</p> <p>できる限りバリアフリーに配慮した施設づくりを行い、また、安心安全に生活できるような配慮を行っている。</p>	